学校番号	3006

令和８年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業	科目	建築システム実習	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自ら考えた建築物を設計図面として具体的に表現するための知識と方法を学習し、実践します。
知識を習得するだけではなく、与えられたコンセプトに対して自分なりの答えを何度も繰り返し考え続け、形にする粘り強さが必要です。そのためにも、日頃から建築雑誌に掲載されている作品の研究のみならず、建築以外の知識や現在の社会問題などにも興味を広げておいてください。
課題については期限内に正しく・美しく提出することを念頭に取り組むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
建築システムに関する設計施工分野を理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
建築システムに関する設計施工分野における課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
建築システムに関する設計施工分野の発展に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築システムに関する基礎的な知識を身につけ、建築技術の発展と環境・資源などと調和のとれたあり方及び現代社会における建築技術の意義や役割を理解している。	建築システムに関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	各実習に興味・関心を持ち、主体的かつ協働的にその改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	設計実習(校内コンペ)	・課題及び過去入選作品の分析 ・情報の収集、コンセプト立案 ・アイディアの視覚化、プレゼンテーション ・エスキスの製作 ・模型・3DCGなどの製作 ・提出作品の完成、振り返り	a:スケッチやCG・模型などを駆使して設計案を具体的・魅力的に他者へと伝えようとしている。 b:与えられたテーマから社会的課題を理解し、それに適切に応えたコンセプトの方向性を打ち出すことができている。 c:既存作品の技法に関心を持ち、自らの作品に活用する態度を身につけている。	プレゼンテーション 完成作品	プレゼンテーション 完成作品	観察 提出物 完成作品
二学期	設計施工実習(校外コンペ)	・課題及び過去入選作品の分析 ・情報の収集、コンセプト立案 ・アイディアの視覚化、プレゼンテーション ・エスキスの製作 ・模型・3DCGなどの製作 ・提出作品の完成、振り返り	a:スケッチやCG・模型などを駆使して設計案を具体的・魅力的に他者へと伝えようとしている。 b:与えられたテーマから社会的課題を理解し、それに適切に応えたコンセプトの方向性を打ち出すことができている。 c:既存作品の技法に関心を持ち、自らの作品に活用する態度を身につけている。	プレゼンテーション 完成作品	プレゼンテーション 完成作品	観察 提出物 完成作品
三学期	設計施工実習(校外コンペ)	・課題及び過去入選作品の分析 ・情報の収集、コンセプト立案 ・アイディアの視覚化、プレゼンテーション ・エスキスの製作 ・模型・3DCGなどの製作 ・提出作品の完成、振り返り	a:スケッチやCG・模型などを駆使して設計案を具体的・魅力的に他者へと伝えようとしている。 b:与えられたテーマから社会的課題を理解し、それに適切に応えたコンセプトの方向性を打ち出すことができている。 c:既存作品の技法に関心を持ち、自らの作品に活用する態度を身につけている。	プレゼンテーション 完成作品	プレゼンテーション 完成作品	観察 提出物 完成作品

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度